

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 2月～ 」

スポーツ課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第55回全国高校スキー大会 男子大回転	2位	H18.2.4	左近 一平 (岐阜第一高)		持ち前の安定した滑りで難コースを攻略し、自身が昨年マークした大回転3位から順位を一つ上げ準優勝となった。計2回滑る大回転で、1回目は3位。2回目は積極的に攻めて会心の滑りにつなげ、本種目として県勢最高位となる準優勝となった。(会場：秋田県鹿角市花輪スキー場)
第18回西日本フェンシング選手権大会 少年女子フルーレ団体	優勝	H18.2.11	岐阜各務野高		岐阜各務野高は、初戦から安定した実力を発揮し、準決勝で同県の大垣南を5対3で下し、決勝で同志社女子高(京都)を5対2で破り、初優勝を果たした。3月の選抜制覇へ手応えを得た。 大垣南高も順調に勝ち上がり、準決勝で同県の岐阜各務野高に惜しくも敗れ3位に入賞した。 (会場：和歌山市ビッグホエール)
	3位		大垣南高		
第18回西日本フェンシング選手権大会 少年女子フルーレ個人	優勝	H18.2.12	久富なつ生 (大垣南高)		約130人の選手が出場。世界カデ日本代表の久富は、団体戦で全敗するほど調子が悪かったが個人戦では奮起し予選トーナメントを勝ち抜き、準決勝でチームメイトの若松を15対10、決勝では亀田(香川県)を15対7で破り頂点に立った。若松も予選トーナメントを勝ち進み、決勝トーナメント1回戦(準決勝)で、同県の久富に敗れ3位となった。 (会場：和歌山市ビッグホエール)
	3位		若松亜耶佳 (大垣南高)		

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第45回全日本実業団スケート 競技会  男子2000mリレー	優勝	H18.2.12	恵那市消防本部		4チームの出場。第1走者の鈴木が好スタートし、チーム最年長の西尾も好走して序盤のリードを守り、後の森川、宮上と繋いで2位の富士重工に18秒以上の差をつけ快勝。初優勝を果たした。 また、団体総合においても山形県体協(1位)・東京スピード(2位)に続き、23団体中の3位に入賞した。 (会場：岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場)
団体総合	3位				
2006年トリノオリンピック 冬季競技大会 スノーボード女子HP	9位	H18.2.13	中島 志保 (ヨネックス)	養老町出身	五輪初出場の中島は、決勝に進出。2回の滑走の合計得点で競うもので、1回目に2回転を含むエアを全て成功させ、2回目もミスなく無難に滑ったが、得点が思ったほど伸びず、合計33.1点で惜しくも入賞を逃すも、本競技では日本人最高の9位となった。 (会場：イタリア、バルドネッキア)
スピードスケート・ ショートトラック 女子1500m	予選敗退	H18.2.19	勅使川原郁恵 (株：赤塚)	岐阜市出身	五輪3度目出場の中島は、スピードアップのためフォーム改造が功を奏し、レース前半は2番手につけていたが、異例のハイペースについていけず、後半失速し、惜しくも予選敗退に終わった。 (会場：イタリア、パラヴェーラ)